

新庁舎整備に向けた検討状況について

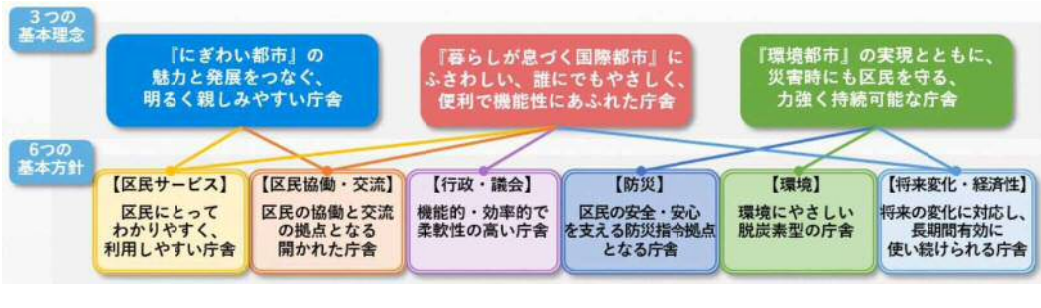
1. 基本設計を進めるにあたっての基本的な考え方の整理

項目	考え方
建物規模	敷地を最大限に活用した建物配置 <ul style="list-style-type: none">・フロアの面積を確保して、平面計画の自由度を高める。 周辺環境へ配慮した建物高さ <ul style="list-style-type: none">・周辺市街地への圧迫感の軽減に努める。
動線計画	快適で安全な歩行者動線 <ul style="list-style-type: none">・大井町駅や下神明駅、隣接街区の広場など各方面から建物へのアクセスを確保する。・フロアをまたぐ縦動線を少なくして、来庁者の移動負担を軽減させる。・隣接街区の広場などへ避難をしやすいとする。
区民サービス	わかりやすく利用しやすい窓口 <ul style="list-style-type: none">・低層階に利用者の多い窓口機能を集約配置する。
区民協働・交流	区民の多様な活動のサポート <ul style="list-style-type: none">・区民が気軽に立ち寄り交流できる多目的スペースなどの配置を検討する。
行政	機能的で柔軟性のある執務空間 <ul style="list-style-type: none">・来庁者と職員の動線を分離し、セキュリティの高い執務空間とする。・レイアウト変更を行いやすくし、将来の区民要望や行政組織に対応する。
防災	業務継続性に優れた建物構造 <ul style="list-style-type: none">・免震構造等の採用により、大規模地震に耐える高い耐震性を確保する。

2. 基本的な考え方に基づくゾーニングの想定

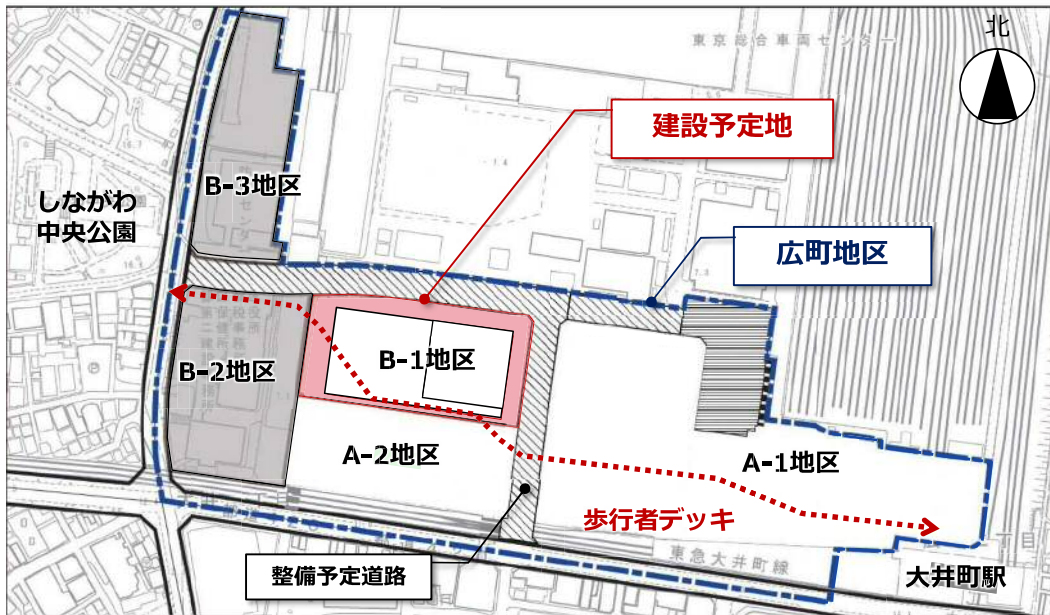
【別紙】のとおり

品川区新庁舎整備基本計画における「3つの基本理念」「6つの基本方針」



新庁舎のコンセプト

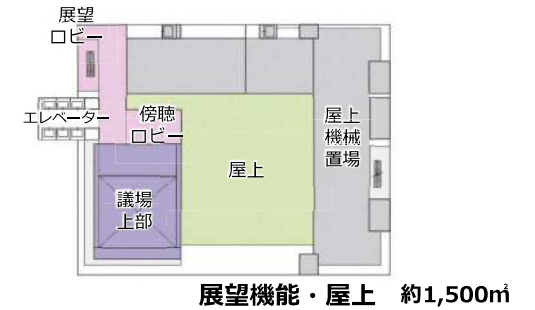
- ・区民の様々な活動をつなぎ、多様なにぎわいをつなぐ庁舎
- ・誰もが快適で使いやすく、気軽に立ち寄れる居心地のよい庁舎
- ・高い環境性能と防災性能を持ち、将来にわたって使い続けられる庁舎



新庁舎建設予定地

建物規模

・敷地面積 約8,300㎡ ・延床面積 約60,000㎡



フロア構成

凡例

- 屋上
- 議会エリア
- 職員執務エリア
- 窓口エリア
- 来庁者対応エリア・展望ロビー等
- 区民協働・交流エリア

